

東京都

Nippon Sport Science University

保護者会報

2020.3.1

vol. 31

発行者 ● 日本体育大学東京都保護者会
お問合せ先 ● nssu.apg.tokyo@gmail.com
タイトルロゴ ● 越水 春汀



UNIVAS CUP 2019 RANKING

順位	大学名	ポイント
1	早稲田大学	4,631
2	日本体育大学	4,067
3	東海大学	3,163
4	山梨学院大学	2,835
5	近畿大学	2,677
6	東洋大学	1,179
7	立命館大学	1,133
8	東京農業大学	1,025
9	関西大学	1,716
10	福岡大学	1,715
11	大塚体育大学	1,689
12	宇都宮大学	1,481
13	富山県立大学	1,370
14	埼玉大学	1,300
15	城西国際大学	1,315



会長挨拶

逢



日本体育大学東京都保護者会 会長
工藤 かほる

皆さま、こんにちは。平成から令和へと元号が変わった今年度、会長をお引き受けいたしました工藤です。東京都保護者会では、“みんなで楽しくやる保護者会”というスローガンのもと活動しています。6月に総会・10月にキャンパス見学会・3月に広報誌の発行…これらを3つの大きな柱とし、世田谷キャンパスにて月1回ほどのペースで役員会を行っています。その他に、日体フェスティバルなどの大学行事や、各種競技の応援へ誘い合い積極的に出掛けています。

ところで、皆さまが抱く保護者会のイメージはどういったものでしょうか？大変、頑張る、つらい…といった言葉が浮かぶかもしれませんね。しかし、日体大の保護者会は全く違った存在です。私はあえて、「楽張り(らくばり) ましょう。」と言っています。つらさや痛みを伴う『頑張る』と真逆の意味で使っています。こちらの大学で出会えた保護者の方々は、我が子のみならず関わってきたあらゆる事をも応援し支えてこられた方々が多いように感じます。そのような環境で活動できる事はとても心地いいです。子どもたちが日体大生になってくれたお陰で繋がる事ができたご縁に感謝しつつ『楽しくなければ保護者会じゃない。』そんな気持ちで活動しています。

さて、入学当初、大学に保護者会がある事を知り、驚いたのは私だけではなかったと思います。その驚きがあったからこそ、後に届いた総会の案内状に興味を持ち、参加してみました。そして現在に至っております。1年生の時に知り合いもなく1人で総会に参加した私でしたが、今や56人の仲間と活動しています。2回目の大学生活といってもいいような充実感をたくさん味あわせていただいております。そんな日々を過ごせる事に感謝するばかりです。

ここで少し話がそれますが、以前、人の出会いの確率について調べたことがありました。(諸説あるかもしれませんが…)人が一生のうちに出会う人の数は、個人差はあるものの、何らかの接点を持つ人が30,000人。そのうち近い関係(同じ学校・職場・近所など)が3,000人。そのうち親しく会話を持つのが300人だそうです。そこで、30,000人をその当時の世界人口数で割り算をしたところ0.000004166という数字が現れました。0.0004166%…一生でなんらかの接点をもつ人の確率です。出会える事自体が奇跡なのだ

と、再認識した数字でした。

さて、これまで自分の気持ちに任せ話を進めてきましたが、人と人を結ぶ機会を作ってくださっている大学本体の存在を忘れてはなりません。秋に行われる関東ブロック代表者会や、11月の日体フェスティバルに合わせて行われる支部会長連絡協議会は、大学の多大なるご支援があり開催できています。

他支部との交流は、自分たちの活動を客観的に見つめ直せる機会となっています。特に、近隣の支部会長の方々と密に連絡を取り合い情報交換が行えている事は、私自身とても心強く、支え合えているという安心感は困難に遭遇した時にも乗り越えられる機動力となっています。

最後に、子育てが一区切りつきそうになっている今だからこそ保護者の皆さんへお伝えしたいです。お子さんが通われる4年間で、日体大に入学式と卒業式にしか行かなかった…というのはいけません。国を挙げての大イベントである東京オリンピック・パラリンピックが目前に迫っています。それに伴い日体大を取り巻く環境も、盛り上がっていく事でしょう。

そんな2020年、目標を高く掲げ、頑張っている選手たちの活躍を私たちと応援しませんか!?

日体大生を持つ親である事をもっと楽しみませんか!!

タイトルの“逢”という字には、運命的に対面するという意味が含まれます。『保護者の皆さまに、これからもより良き出会いが待っていますように。』願いを込めまして挨拶に代えさせていただきます。



理事長挨拶

新時代に向けて



日本体育大学 理事長
松浪 健四郎

はじめに

保護者会の皆さまにおかれましては、日本体育大学の発展のために、平素より多大なご協力とご理解をいただいておりますことに、謹んで御礼申し上げます。創立128年の伝統校として、日本社会の中で存在感を示すことができますのも、保護者の皆さまのご尽力による賜物でございます。感謝させていただきます。大学は、まだまだ発展途上にあり、1万人の「身体にまつわる文化と科学の総合大学」にすべく、前進させねばなりません。

以下、私どもは何を考え、大学をどの方向に導こうとしているのか記述させていただいて、さらに日体大を応援していただければ光栄に存じます。私どもは「名門」にこだわり、世界一の体育大学を目指して参ります。

家族の皆さんに期待する

家庭崩壊、親子断絶が話題になる時代を迎えて久しいのですが、親子のコミュニケーションを深めて下さい。大学生は、もう立派な大人です。自分なりの考えを持っています。親よりも多く情報を入手し、学問をすることによって先進性に富む思考をします。親は己の体験を基軸に大学生のわが子と接するのですが、考え方を押しつけないで下さい。すでに親の青春時代の社会を現在社会とでは、比較できないくらい変化しているのです。子どもへの理解力が問われます。

社会の変容にともなって、日体大の使命も徐々に変化しています。教員養成だけでなく、あらゆる分野へと人材を送り込む時代です。日体大生の魅力が、各企業に浸透しているばかりか、幹部として活躍される卒業生が多くいます。体力と健康、組織を理解し強い責任感、これらは全ての分野に共通して大切ですが、日体大生は特にすぐれているという評価を得ています。

わが子が、どのように進路を考えているのか、興味をもってご家族の皆さままで応援していただければ幸いです。「人間万事塞翁が馬」です。どんな人生になるか、だれも予想できません。運命もあれば人生観も、他にさまざまな要因によって人生行路の方向性が決定します。時代を読む、情報を入手する、わが子には、こまめにキャリアセンターへ行くようにご指導下さい。

社会の変容を理解する

少子化社会は、ついに日本を移民国家にせねばならなくなりました。労働者不足も経済を支える点で深刻です。健康保険、国民年金等の加入者を増加させねば破綻してしまいます。もはや日本国は、国の形を変えねば国民に安心安全を約束できなくなったのです。少子化の影響は、想像以上に大きいと言わねばなりません。そこで心配すべきは、社会の治安です。外国人が毎年20万人以上、この国に住みつくるので、地域社会も変わります。

現在、日本に在住する外国人は280万人ですが、すぐに500万人を突破するでしょう。テロ対策も重要ですが、世界一の治安をいかに護り抜くか、日体大も研究せねばなりません。おそらく、公務員になる、目指す学生が増加すると思われまます。

また、人生100歳時代を政府が主張しています。長寿社会は有り難いのですが、やはり医療機関にお世話になる人たちが増えるにちがいません。本学は保健医療学部を設置し、医療人を養成していますが、看護、リハビリテーション等の分野にまで進出する必要がありそうです。高齢化社会は日体大のウイングを医療系にさらに伸ばし、社会貢献のできる人材を多く輩出させねばと考えます。

授業料が高くなりました。日体大は、まだまだ下位にありますが、ご家族の皆さまのご負担を大きくしないように私たちは努力せねばなりません。大学内にクリニックを設置したり、キュアセンターを設置したりして、学生が負傷しても学内で治療を受けることができるようにして、学生たちの支出についても考慮しております。

むすび

予想のできない時代、社会に私たちは生きています。ITからAI、まだまだ変化するにちがいません。が、いつの世も「人間性」が問われます。そして人々に「健康」を期待します。それらの面で日体大は貢献し、人材の宝庫にせねばなりません。私は50年前に日体大を卒業しましたが、時代と大学を取り巻く環境が、すっかり変化しました。私ども、しっかり学習せねばなりません。

事務長挨拶

「就職」と「就社」

学生支援センター 学修・キャリア支援部門 事務長

菊名 博之

先日の東京都保護者会での講話の中で、保護者の皆様に今21歳だとしたら「就職」と「就社」のどちらを選択しますか？という投げかけをさせていただき、このお題についてグループでディスカッションをしていただきました。

ここで言う「就職」とは「職能」を高めるためことを目的に社会に出ることで、ここで言う「就社」とは会社に入ることを目的に社会に出ることを定義としました。

あるグループでは、「我々の時代は、入った会社に定年まで勤めるという考えで就職活動をしていたが、今は大きな会社でも潰れる時代。だからどこに行っても通用するスキルを身につけられるところに進んだ方が良い」というご意見がありました。

今の保護者の方々が就職活動を経験した「時代」とは大きく変わり、その変化は今もお速く動き続けています。

では、このような時代にどのような就職活動を行って欲しいか？これもまたグループでディスカッションしていただきました。

2つのグループから同じ返答がありました。「好きなことを見つけてそれをやって欲しい。」

この言葉が親の本心なのではないかなと思いました。

本学の学生に「好きなこと」を聞いてみると、「スポーツに関わる」という回答が大半を占めます。今までも、関わってきたから、これからもスポーツに関わりたい。一番身近なスポーツに関わるのが「好きなこと」につながり、スポーツに関わる職業を選択する学生が多いのも事実です。

ただし、この「スポーツに関わる」の中でも、どのように関わっていった方が良いのか？は個人差があります。なぜなら個人、それぞれに個性があり、異なるからです。

例えば、「スポーツに今までどう関わったときが一番自分らしかったか？」という質問を投げたときに、それぞれ異なる回答があると思われます。ある人は地道にコツコツと努力を積み重ねて成果を出すこと。ある人はどうしたら結果が出るかを自分な

りに作戦を考えること。ある人はチームの一体感が出るために、チームメイトと関わっていくこと。

いろいろな回答があります。個性を理解することを就活では自己分析といいます。他者とは違う自分を理解し、その自分の強みや良さを発揮できる場所を、親和性のある「スポーツ」に関わる職業の中から選択していくことが「好きなこと」を見つけ、やって欲しいという親心と近い選択なのではないでしょうか？

保護者会でもお伝えしましたが、職業を選択する上で「条件」も大切な要素ですが、自分がどんな人間なのかを理解し、その自分がこの変化の激しい時代をどう生きていきたいのか？自分としっかり向き合い、21歳なりの自分の答えを自分で見だし、その心の声に沿って周りのかたのアドバイスを聞きながらも自分で選択していくことが、「好きなこと」を見つける近道なのではないでしょうか？

厚生労働省の「新規学卒就職者の離職状況」によると、直近20年では、ほぼすべての年度卒の離職率が30%を超えています。日経新聞の調べでは20代向けの転職サービス登録者のうち、卒業後3年以内の登録者が前年比3割増えたとありました。

また、日本生産性本部が行った2016年度の新入社員秋の意識調査では「条件のよい会社があればさっさと移るほうが得である」と考える新入社員が54.6%と過去最高をマークしました。

保護者の世代からは考えられないという声が上がりましたが、年功序列などの日本型雇用が崩れつつある中、これから生きる若者は、最初に入った会社が最後までいる会社ではなく、キャリアを積みながらも自分自身が何かを模索し、自分なりの答えを探していくことになるのではないかと考えられます。本学ではそういった時代背景を理解しつつも、学生の個性を尊重し、21歳の自分自身としっかり向き合い、自分で選択することを支援していきたいと考えております。

相互信頼は健康のもと！

日本体育大学同窓会 会長 瀧澤 康二

東京都保護者会の皆様にはその後もご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

私の同窓会長としての任期がカウントダウンに入りました。2期6年の間、東京都保護者会の皆様には大変お世話になりました。特に、同窓会本部信頼回復のために多大なお力添えを賜りました。改めて深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

私は今、戦争で荒廃した母校日体大を救ってくれた元法人理事長、米本卯吉先生が私たちに遺してくれたことは「健康と信用は最高の宝」を思い出しています。信用と信頼の意味は異なりますが、私は人が信頼し合えることは健康そのものであると確信しています。

それは、人間関係はそもそも信頼によって成り立っているからです。

今夏は、いよいよ待ちに待った東京オリンピック・パラリンピック大会が開催されます。

東京都保護者会会員の皆様にとりましては、地元で開催される世紀の大イベントです。大成功を祈って止みませんが、私はその成功・不成功を単に勝った・負けたという意味だけで捉え

ていません。

私は、ここでの大会成功の意味を、次のように捉えています。つまり、この大会を通して世界中の人に真なるスポーツの意味を知っていただくことにあるということです。それは、同時に異文化を理解し、最終的に誰もが信頼し合える平和な（健康な）社会づくりに貢献できたときだ、ということです。そのように在ってこそ「スポーツは、世界共通の文化である」といえるのではないのでしょうか。

人がお互いに信頼し合えるためには、先ず相手に対して慈恵の念を抱かなければならないと思います。感情が目まぐるしく変化する人間にとって容易なことではありませんが、不可能ではないと確信します。およそ200年前、ドイツの詩人が遺してくれたことは「喜びは、分け合えば二倍になり、苦痛は、分け合えば半減する」(Christoph Augst Tiedge =1752-1841)を上述の米本先生のことはと同様、教訓にたく存じます。

結びに、東京都保護者会の益々のご発展と、会員皆様のご健勝、ご多幸、そして東京オリンピック・パラリンピック大会の成功をご祈念申し上げます。

東京都保護者会の皆様へ

日本体育大学東京都同窓会 会長 高田 幸一

余寒の候、ますますご清栄のことと存じます。平素より東京都保護者会の皆様におかれましては、東京都同窓会にご支援ご協力を賜り心より感謝しております。特に今年も同日開催した研修会は、保健医療学部・鈴木健介准教授の「中高年を対象にした心肺蘇生法の実践」を学生の参加を含め無事成功裏に終えることができましたこと、厚く御礼申し上げます。

さて、東京都同窓会活動の主な目的は、(1)会員相互の親睦(2)母校の発展に寄与するがあげられますが、現在、新会員の獲得、企業人会の設置、企業に就職を希望する学生の支援も急務とされています。

今年度の活動は、①教員採用試験に向けての講習の支援 ②教育実習指導の協力 ③就職活動に対して、企業人と協働し研修会を実施等があります。

これらを今後さらに保護者会と連携を深め、学生の学びを

深められる支援になるよう活動していきます。

なお、今後も学生の進路の多様化に対応すべく、情報提供の一環として「日体魂」とともにホームページも立ち上げています。学生及び同窓生、保護者会へ定期的に事業や活動の情報提供をしています。是非、ご子息様・ご息女様にも情報を伝えていただき積極的に参加いただけますと幸いです。

さらに、昨年度より東京都同窓会は、平成史の編集を始めました。そのため①教員名簿の整理 ②教育関係・企業で活動している同窓の情報収集を行っています。

東京都同窓会は、保護者会と協力をいただき今までの人的財産と知的財産を活かす新たな事業を行います。今後とも保護者会の皆様におかれましてはご理解ご支援をお願い致します。

会長挨拶

日本体育大学本部保護者会 会長 **川田 泰史**

東京都保護者会会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より本会の活動に対し深いご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

今年度、本部保護者会会長を拝命いたしました川田泰史と申します。よろしくお願い致します。

今年度の保護者会事業方針は、「就職対策の強化を支援」「学友会活動の活性化を支援」「学生の生活環境及び活動環境の充実を支援」「本部活動及び支部活動の充実を図る」「学生派遣事業を支援する」の5つを掲げ活動しています。保護者会は全国47都道府県、48支部にて構成される全国規模の組織であり、学生をサポートする為の活動をしています。東京都保護者会は、1,600名(会員比率23%強)を超える会員で構成され、保護者会活動を牽引していく組織力を持った全国最大支部です。

日本体育大学は5学部9学科の総合大学(University)となり、多様な学生が入学してきます。ラグビーワールドカップでの日本代表の活躍、そして今年は東京オリンピック・パラリンピックと世界的スポーツイベントが日本で開催され、スポーツへの関心・注目がますます高まっています。大学・保護者会・同窓会も、学生の多様性を受容しつつ、時代が求める学生たちを支援していくための活動を、組織的に且つ継続していくことが重要と考えております。

東京都保護者会の皆様一人ひとりの声が、日本体育大学の発展、学生の成長・活躍に繋がります。保護者会組織を最大限活用していただき、保護者同士の交流も深めていただければ幸いです。

最後になりましたが、日本体育大学の益々の発展と会員の皆様のご健康と学生の皆さんの健やかな成長を祈念しご挨拶とさせていただきます。

関東ブロック代表者会

日本体育大学東京都保護者会 副会長 **會田 薫**

9月21日(土)、1都7県の各支部の会長・副会長が山梨県甲府市に集まり、日本体育大学保護者会関東ブロック代表者会が開催されました。「代表者会の目的は各支部の諸問題を出し合い、情報交換をして、それを持ち帰り支部の会員に報告することや、懇親を深めながら話し合い、時間を共に過ごすことだ。」というお話がありました。

大学からは、体育学部教授・IRE室長の荻浩三先生をお迎えして大学の近況についてお話しいただきました。保護者会費は、学生の食環境の充実・学友会への補助・就職活動のための支援へと使われており、学生の食環境では学食のメニューへの補助、例えばお味噌汁が具の多い豚汁へ変更されたり、サラダが1パック50円という格安な価格で提供されていると伺いました。

懇親会では各県の皆様と現状抱えている問題点やその解決策な

どの情報を交換し、とても有意義なひと時を共に過ごすことができました。

日本体育大学保護者会は、小学校、中学校、高校のPTA活動とはまるで異なる開けた会である、ということをお会員の皆様に発信し、より多くの方に参加していただきたいと、改めて深く感じました。

この会に出席できたことをとても光栄に思っています。素敵な機会を与えていただき、ありがとうございました。



支部会長連絡協議会

日本体育大学東京都保護者会 会長 **工藤 かほる**

11月3日(日)、日体フェスティバルに合わせ、世田谷キャンパスにて開催されました。各支部の代表者・本部役員・ブロック代議員、大学からは具志堅学長をはじめとする教職員の方々が出席されました。

大学の近況として、台風19号・10月25日の大雨の影響について報告がありました。学生にn-passで安否確認をとったところ、命に関わる被害は出ていないという事でしたが、ご家族・ご実家に被害はあったそうです。また、大学施設にも何件か被害があったという事でした。昨今の自然猛威について考えさせられる

報告でしたが、その一方で、柔道・クレー射撃・相撲・ソフトボール・ライフセービング・箱根駅伝予選会といった競技成績の報告があり、学生たちの活躍に光を感じる思いがしました。

スポーツが与えてくれる勇気や感動をこれからもたくさん発信していただきたいものです。

最後の質疑応答では、日体大に通う学生たちを思うがための悩みや相談があり、活発な意見交換が行われました。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを目前にし、日体大ファミリーとしての結束を高められた会でした。



去る10月19日(土)、世田谷キャンパスに於いてキャンパス見学会・講演会が行われました。

参加者62名が小グループに分かれ、各々の案内役の学生と共に出発です。まず図書館へ。2フロアにわたる体育スポーツ関連の専門書、雑誌の蔵書は圧巻でした。トレーナーも滞在しているというトレーニングセンターではたくさんのマシンが並ぶ中、多くの学生が汗を流していました。メインアリーナは、スペースを区切って利用。ランニング走路にはカーブミラーも設置されていました。世田谷キャンパスには室内競技の部活が揃い、部活毎に体育館があるという事でした。大きな洗濯機やクリニックもあり、スポーツに専念できる環境が整っていることを改めて実感しました。壁に貼られた日体大が輩出したオリンピックの写真は壮観です。今年の夏が終わる頃には、また新たな写真が加わるかと思うとワクワクします。

見学会の最後は学食体験です。BIGチキンの味噌漬け定食をいただきました。全て手作りというメニューはとても美味しく、デザートのパイナップルも付いてお腹一杯になりました。

午後は東京都同窓会会長の高田幸一様のご挨拶の後、スポーツ文化学部の南部さおり先生による「スポーツの安全とリスクマネジメント」の講演でした。日本の部活動において、指導者の不適切な言動は時として児童虐待と同じような事が起きていると、実際の症例で説明されました。重く辛いお話でしたが、教育現場を日体大から変えていく、という強い決意を感じました。続く学生支援センター、玉ノ井康昌様の「これからの時代に向けたキャリア」。就職が就社か。入社直後の就活再開が急増している現状を受け、学生たちには職能を高められる場を選んで欲しいという事でした。

来て良かった、という保護者の方の声も聞かれ、充実の1日を過ごす事ができました。

日体フェスティバル

清水 喜美 (1年保護者)



令和になり最初の日体フェスティバルが11月1日(金)、2日(土)、3日(日)に開催されました。大学の学園祭、ワクワドキドキしながら健志台キャンパスに向かいました。

私が足を運んだ2日はお天気に恵まれ、まさに学園祭日和。体育大学ならではの趣向で迎えてくれました。普段は見ることのできない部活動の公開練習や公開試合、体験コーナー等見どころいっぱいでした。特に私が印象に残ったのは体操競技部の公開練習です。テレビでしか見たことのない段違い平行棒、平均台、床等の演技練習に真剣に取り組む姿に見入ってしまいました。

また、地域の家族連れがたくさん来場しておりダブルタッチ、ローラースケート体験等子どもと学生が触れ合う姿を間近に見ることができました。そして警察署、消防署、自衛隊とも連携し本物の車両乗車体験もでき、学生だけが楽しむだけの学園祭ではなく地域を巻き込み楽しめる企画がたくさんありました。

オリンピックコーナーでは本物のユニフォームと金メダルを着用し表彰台の上に立て、とても感激しました。大人も子どもも楽しめ、ほっこり、あったかい健志台キャンパスで楽しい1日をお過ごすことができました。



第57回 体育研究発表実演会が11月13日(水)に横浜アリーナで行われました。

未来の日体大生(中学・高校生)のパフォーマンスからスタートです。若さ溢れる躍動感のあるダンスや吹奏楽の素晴らしい演奏に早くもテンション急上昇です。

オープニングは、オリンピック・パラリンピックの有力候補選手たちの紹介です。みんな自信に満ちて、笑顔が素敵でした。きっと代表として輝いてくれることでしょう。

いよいよ実演会の始まりです。「チアリーダー」「新体操」「ダンス」では、音楽に合わせて華やかに優雅にしなやかに時に力強い技を交えての演技に魅了されました。「体操」「トランポリン」「レスリング」「相撲」「陸上競技」「ハンドボール」では、それぞれ解説付きで分かりやすく、これから、これらの競技を見るのが楽しみになりました。

伝統芸能の「大田楽」は、現代風のアップテンポなリズムに合わせて舞う姿が斬新です。

「救急医療」実演では、学生のスムーズな動きに感心しました。実演会会場でも非常時に備えて待機してくれていたそうで心強いですね。朝鮮大学の「民族舞踊」は色鮮やかな衣装と日本にはない独特のリズムで迫力のある演技です。演技人数が多い「Gym-mix」「集団行動」には見るものを引きつけて釘付けにするパワーが感じられました。思わず、身を乗り出してしまったほどです。競技や演技もさることながら、準備や片付けの手際の良さに目を奪われました。さすがは『日体大生』かっていいです。

最後は「エッサッサ」です。飾りも何もない体一つの大迫力の演技。筋肉が躍動していました。フィナーレは出演者全員での「ダンスパフォーマンス」みんなが主役の実演会。やり遂げた満足感からくる最高の笑顔で締めくくられ、あっという間の3時間でした。

体操部演技発表会

平林 恭子 (1年保護者)



12月14日(土) 横浜文化体育館に於いて体操部演技発表会が行われました。

皆さま、日本体育大学には体操競技部と体操部があることはご存知でしょうか?メダルを目指して技を競うのが体操競技部であり、対して体操部の演技はチームワークで魅せる体操です。

さて演技発表会ですが、オープニングは女子部員が艶やかな衣装を身にまとい蝶のように軽やかに舞い、体操というよりダンスに近い美しい演技でした。

男子部員によるアクロバティックな演技はジャニーズさながらの連続バック転など、見入ってしまいました。

体操部OBでもあり「おかあさんといっしょ」でお馴染みの弘道お兄さんの楽しい司会進行と共に、よしお兄さんのブンバボン体操は子どもたちに大人気!

新潟大学、筑波大学とのコラボレーション演技、華やかな衣装

の文化学園大学の学生たちとのシンデレラ。OBの方々の年齢を感じさせないキレのある演技、また日体大バーベルクラブの友情出演など、笑いあり驚きありの様々な演目にぐっと引き込まれました。

途中、「みんなで体操」は2時間座ったままの姿勢から少し解放されリフレッシュできました。

圧巻は、最後の演目の組立体操(組体操)です。皆さまも我が子の運動会での組体操に感動した経験をお持ちではないでしょうか?懐かしいような気持ちで観ましたが、日体大体操部の組体操はとてもレベルが高くプロフェッショナルです!必見です!

私の息子は小学校から野球一筋でしたので応援といえば試合観戦だと思い込んでいた私ですが、日体大にご縁をいただき様々な部活動の応援の機会を持ってました。

保護者の皆さま、是非とも来年の体操部演技発表会に足をお運びください!



第96回 箱根駅伝、日体大は出場10枠を駆け予選会からの挑戦になりました。予選会は10月26日(土) 立川駐屯地をスタート、昭和記念公園をゴールとするハーフマラソンで全員が一斉にスタートし各チーム上位10名の合計タイムで10校の出場大学が決定します。日体大は力強い走りを見せ見事3位となり箱根への切符を獲得しました。選手達そして支えてきた全ての人の努力が実る瞬間に立ち会うことができとても嬉しかったです。秋から冬に季節は変わり私が想像する以上に辛く苦しく厳しい練習を仲間と共に刺激しあい同じ目標に向かって乗り越えてきたことでしょう。

1月2日(木)、大手町の読売新聞社前から箱根・芦ノ湖を往復する熱い2日間が始まりました。スタート地点から2km離れた日比谷の日体大応援スペースでは、早朝から応援団、ブラスバンドの力強い応援、華麗に笑顔で舞うチアリーダー達と心ひとつに日体大、そして箱根を目指し前に進む全てのランナーたちに健闘を讃えエールを送ります。

午前8時、大手町をスタート。力強い走りの池田選手を見送り、はやる気持ちを抑えながら選手たちの目指す箱根・芦ノ湖へ向かいます。大手町から箱根へそして箱根から大手町を目指し自分のために仲間のためにそして支えてきてくれた全ての人の想いを抱え力強く走り駆け抜けて行ったランナーたちからは、強さ、優しさ、偉大さ、言葉にできない程の熱い思いが伝わってきました。10区間を走り終えた日体大の選手の皆様本当にお疲れ様でした。

次のゴールへ向かい歩みを止めず進んで行く皆様の御活躍を心より応援しています。そして選手を支えてきた御家族の皆様、走り続けた選手たちへのサポート本当にお疲れ様でした。小さな頃から走る姿を見守り続けた御家族にとってユニフォームに身を包み走る姿はとても輝いて誇りだったことでしょう。勝ち負けだけではなく学生達の繰り広げるドラマを箱根駅伝を通して感じることができました。たくさんの感動をありがとうございました。最後になりましたが箱根駅伝を支えられた皆様、沿道でそしてテレビの前で応援して下さった全ての皆様に心より感謝申し上げます。

箱根駅伝 予選会

別城 宏 (1年保護者)

予選会10月26日(土) 9時35分スタート。

前日の大雨とは打って変わって、今日は夏みたいな天候になりました。気温も25度ぐらいまで上がり、選手達はスタートから第2グループを全員でまとまり走っていました。

前半は8位で後半は4位まで追いつけて選手たちは暑い中、本当に良く頑張って走り抜きました。結果は参加大学43校中(総勢506人)、3位で見事に本大会の出場を決めました。時間は、10



時間51分09秒。令和2年 第96回 箱根駅伝の本大会では是非とも優勝目指して頑張ってください。



近代五種競技部

横川 英恵 (1年保護者)

娘は小学校2年生から競泳、中学3年生からは、競泳とトライアスロンに打ち込み、将来は「日体大」と決めていました。高校3年生の6月、日体大のオープンキャンパスで「トライアスロンをやっているなら、近代五種をやってみない?」と声を掛けていただきました。「近代五種」とは、水泳(200メートル自由形)・フェンシング・馬術(騎乗馬が抽選により決定する障害飛越競技)・レーザーラン(レーザーピストルを的に5回命中させる射撃と800メートルのランニングを交互に4回行う)の五種類の競技を一人でこなす、ヨーロッパでは人気で、数あるオリンピック競技の中で唯一、国際オリンピック委員会から誕生した別名「キングオブスポーツ」と呼ばれている競技です。

このような歴史ある競技をやっているのか不安はありましたが、本人の強い希望もあり、大学からは近代五種の部員として、和泉寮で生活しながら12月に行われる「全日本選手権大会」出場を目標に頑張っています。皆様にご声援いただくと、本人の励みにもなります。

是非応援をお願いします。



家政部

本間 香代子 (2年保護者)

日体大に入学すると当然のように、運動部に入るものだと勝手に思い込んでいた母親でした。しかし、娘はいろいろな部活を見学に行って悩みに悩んだ末、家政部に入りました。

日体大に家政部のあることを知らない方が多いのではないのでしょうか。家政部は「草月流いけばな」のお稽古を主とした部活で、師範の緒方先生が毎週土曜日に教えてくださっています。

家政部でいけられた花々は、普段は日体大の校内にひっそりと飾られています。また、入学式や卒業式、祝勝会などでは、家政部全員で創作した華やかで立派ないけばなが会場に美しい彩を添え、静かにムードを盛り上げています。

何事においても「静」と「動」のバランスをとることが重要です。「静」がなければ「動」は生まれません。また、「美しい」という感情は人間だけに与えられたものだと思います。この「美しい」とい

う感情は副交感神経に作用し、気持ちをリラックスさせますので、心を静めマインドコントロールするために有用です。「静」であるいけばなを学んで日々の生活やスポーツに役立ててみませんか。運動部に所属しながら、家政部を兼務することも可能です。少しでも興味のある方はぜひ一度、見学に来てください。お待ちしております。

家政部は、毎週土曜日10時から12時まで、世田谷キャンパス3階作法室(3313)で活動しています。



日体大ラグビー部 — UNICORNS —

白鳥 武寿 (2年保護者)

日本ラグビー界、史上初のワールドカップ決勝トーナメント進出で大いに沸いた“2019”

日体大ラグビー部— UNICORNS —は、4月28日(日)の関東学院戦を皮切りに、春季大会5試合、jr戦4試合とワールドカップの関係で、変則的な日程になった対抗戦(7試合)を行いました。8月31日(土)の対早稲田の開幕戦は菅平高原、その後も足利市、甲府市、川越市、熊谷市、前橋市、健志台と試合会場は、関東各地をまわります。暑い日、寒い日、雨が降っている日、台風が近付いている日等、試合の日の天候は、選べるものではありません。そんな中でも、UNICORNS☆FAMILYは、必ず応援にかけつけ、声援を送ります。先日、関係者の方から、『日体大サイドは、いつでも明るい』とのお褒めの言葉をいただいたそうです。

今季は対抗戦3勝4敗の5位という結果におわりました。来年もまた、試合がある所どこまでも、応援に行きます。ツイッター (@nssu-rugby) やホームページ(<https://nssurfc.jp>) に試合情報が載っていますので、ご興味、お時間のある方、是非一度、試合会場に足を運んでいただき、UNICORNS☆FAMILYの熱い応援とともに、体を張って仲間の為に闘う姿と、臨場感を味わっていただけたらと思います。必ずや感動するはずですよ。



日体大の思い出

二ノ宮 さちえ (4年保護者)

私が日体大を卒業して数十年経ちました。大学の校舎は現在のように立派ではなく今では当たり前前のエアコンもありませんでした。メインアリーナは第一体育館という呼び名でした。屋外にバレーコートがあり9人制ルールで練習していました。相撲の土俵は屋外にもありました。当時としてはトレーニング設備が充実していたので、巨人軍の選手が筋トレに来ることもあったようです。

日体のイントネーションも今とは違っていましたし、英語表記もNCPE(Nippon College of Physical Education) でした。

実技の授業では皆自分のやっているスポーツの特性が出ていて、体操部の子はハードルを跳んだ足のつま先が伸びていて綺麗だったり、バスケ部の子はハンドボールの授業でゴール時に歩数が合

わずファウルになったりしていました。

実習は選択ではなく、水泳、キャンプ、スキー、スケートすべて行きました。キャンプ実習のカリキュラムにゴルフの時間があり、実際のコースでプレーしました。ゴルフ経験のない子がホールインワンを決めてびっくりしたことを覚えています。

学生の頃は自分の部活の練習だけをしていて他の部の応援に行く事はなかったです。保護者会に参加して箱根駅伝の応援ができた事はとても良い思い出になりました。

スポーツは勝つこと、記録を出す事はとても大事です。良い伝統は引き継ぎながらも強い日体大であり続けるために進化して欲しいです。卒業生はみんな応援しています。

4年間の思い出

松井 晃 (4年保護者)

日本体育大学の4年間大変お世話になりました。娘はもちろんのこと親も感謝感動の4年間でした。

娘は入学時から女子ラクロス部に入部し、卒業まで過ごさせていただきました。朝5時に起きて朝練習に出かけ体調が心配になる程でしたが、最後までやり続けて一生の思い出になったと思います。最後の関東学生ラクロスリーグ戦ではファイナル4まで勝ち進み毎回親として応援に行き大変楽しませていただきました。

ラクロスで培った礼儀や先輩後輩との上下関係の大切さがこれからの社会人として役に立ち、またラクロスの仲間とも親友として続いていければと願っています。女子ラクロス部のOGの皆さんや顧問の先生にもお世話になりありがとうございました。最後までラクロスを続けられた娘に親として褒めてあげたいと思います。また、

少ししか参加できませんでしたが、役員になったことで学校のことやいろいろな大会を見学でき楽しかったです。これで親子ともども卒業ですが、本当に日本体育大学に入学して良かったと思います。ありがとうございました。



2019年度活動表

2019年

日	曜	7月	日	曜	8月	日	曜	9月	日	曜	10月	日	曜	11月	日	曜	12月
1	月		1	木		1	日		1	火		1	金	日体フェスティバル	1	日	
2	火		2	金		2	月		2	水		2	土	日体フェスティバル	2	月	
3	水		3	土		3	火		3	木		3	日	日体フェスティバル 支部会長連絡協議会	3	火	
4	木		4	日	五役・キャンパス打ち合わせ	4	水		4	金		4	月		4	水	
5	金		5	月		5	木		5	土	役員会④	5	火		5	木	
6	土		6	火		6	金		6	日		6	水		6	金	
7	日		7	水		7	土	役員会③	7	月		7	木		7	土	
8	月		8	木		8	日		8	火		8	金		8	日	
9	火		9	金		9	月		9	水		9	土		9	月	
10	水		10	土		10	火		10	木		10	日		10	火	
11	木		11	日	山の日	11	水		11	金		11	月		11	水	
12	金		12	月	振替休日	12	木		12	土		12	火		12	木	
13	土		13	火		13	金		13	日		13	水	実演会 横浜アリーナ	13	金	
14	日		14	水		14	土		14	月	体育の日	14	木		14	土	体操部演技発表会 横浜文化体育館
15	月	海の日	15	木		15	日		15	火		15	金		15	日	
16	火		16	金		16	月	敬老の日	16	水		16	土		16	月	
17	水		17	土		17	火		17	木		17	日		17	火	
18	木		18	日		18	水		18	金		18	月		18	水	
19	金		19	月		19	木		19	土	キャンパス見学会	19	火		19	木	
20	土		20	火		20	金		20	日		20	水		20	金	
21	日	役員会①	21	水		21	土	関東ブロック	21	月		21	木		21	土	
22	月		22	木		22	日		22	火	即位礼正殿の儀	22	金		22	日	
23	火		23	金		23	月	秋分の日	23	水		23	土	勤労感謝の日	23	月	
24	水		24	土		24	火		24	木		24	日	役員会⑤	24	火	
25	木		25	日	役員会②	25	水		25	金		25	月		25	水	
26	金		26	月		26	木		26	土	箱根駅伝予選	26	火		26	木	
27	土		27	火		27	金		27	日		27	水		27	金	
28	日		28	水		28	土	五役・キャンパス打ち合わせ	28	月		28	木		28	土	
29	月		29	木		29	日		29	火		29	金		29	日	
30	火		30	金		30	月		30	水		30	土		30	月	
31	水		31	土					31	木					31	火	

	<p>【8月4日】 キャンパス見学会準備 五役・キャンパス係のみ</p> <p>【8月25日】 キャンパス見学会準備 1) 全体構成打合せ 2) 案内状確認</p>	<p>【9月7日】 キャンパス見学会 案内状発送 1) タイムスケジュール 2) 担当振り分け</p> <p>【9月21日】 関東ブロック</p> <p>【9月28日】 五役・キャンパス係 のみ打合せ</p>	<p>【10月5日】 キャンパス見学会 最終打合せ</p> <p>【10月19日】 キャンパス見学会</p>	<p>【11月1日～3日】 日体フェスティバル健志台</p> <p>【11月3日】 支部会長連絡協議会</p> <p>【11月13日】 実演会 横浜アリーナ</p> <p>【11月24日】 定期会報打合せ</p>	<p>【12月14日】 体操部演技発表会</p>
--	--	--	--	--	------------------------------

日本体育大学東京都保護者会 2019年度 活動報告

●役員会

- (1) 第1回
 - ア 日時 2019年7月21日(日) 午前10時から
 - イ 会場 日本体育大学 世田谷キャンパス 2503会議室
 - ウ 議題 2019年度 役員顔合わせ
- (2) 第2回
 - ア 日時 2019年8月25日(日) 午前10時30分から
 - イ 会場 日本体育大学 世田谷キャンパス 2203会議室
 - ウ 議題 キャンパス見学会について等
- (3) 第3回
 - ア 日時 2019年9月7日(土) 午前10時30分から
 - イ 会場 日本体育大学 世田谷キャンパス 2503教室
 - ウ 議題 「キャンパス見学会案内状」発送作業
- (4) 第4回
 - ア 日時 2019年10月5日(土) 午前10時30分から
 - イ 会場 日本体育大学 世田谷キャンパス 2503会議室
 - ウ 議題 キャンパス見学会について等
- (5) 第5回
 - ア 日時 2019年11月24日(日) 午前10時30分から
 - イ 会場 日本体育大学 世田谷キャンパス 2205教室
 - ウ 議題 キャンパス見学会反省・会報誌打ち合わせ
- (6) 第6回
 - ア 日時 2020年1月11日(土) 午後4時30分から
 - イ 会場 日本体育大学 世田谷キャンパス 3205会議室
 - ウ 議題 会報誌「定期会報」について/原稿確認
総会について
- (7) 第7回
 - ア 日時 2020年2月9日(日) 午前10時30分から
 - イ 会場 日本体育大学 世田谷キャンパス 2501教室
 - ウ 議題 会報誌「定期会報」について/原稿最終確認
- (8) 第8回
 - ア 日時 2020年3月1日(日) 午前10時30分から
 - イ 会場 日本体育大学 世田谷キャンパス 2503教室
 - ウ 議題 会報誌「定期会報」発送作業・総会について

日	曜	1月	日	曜	2月	日	曜	3月	日	曜	4月	日	曜	5月	日	曜	6月
1	水	元旦	1	土		1	日	役員会⑧	1	水		1	金		1	月	
2	木	箱根駅伝	2	日		2	月		2	木		2	土		2	火	
3	金	箱根駅伝	3	月		3	火		3	金	入学式	3	日	憲法記念日	3	水	
4	土		4	火		4	水		4	土		4	月	みどりの日	4	木	
5	日		5	水		5	木		5	日		5	火	こどもの日	5	金	
6	月		6	木		6	金		6	月		6	水	振替休日	6	土	
7	火		7	金		7	土		7	火		7	木		7	日	
8	水		8	土		8	日		8	水		8	金		8	月	
9	木		9	日	役員会⑦	9	月		9	木		9	土		9	火	
10	金		10	月		10	火		10	金		10	日	役員会⑩	10	水	
11	土	役員会⑥	11	火	建国記念の日	11	水		11	土	役員会⑩	11	月		11	木	
12	日		12	水		12	木		12	日		12	火		12	金	
13	月	成人の日	13	木		13	金		13	月		13	水		13	土	役員会⑩
14	火		14	金		14	土		14	火		14	木		14	日	
15	水		15	土		15	日	卒業式	15	水		15	金		15	月	
16	木		16	日		16	月		16	木		16	土		16	火	
17	金		17	月		17	火		17	金		17	日		17	水	
18	土		18	火		18	水		18	土		18	月		18	木	
19	日		19	水		19	木		19	日		19	火		19	金	
20	月		20	木		20	金	春分の日	20	月		20	水		20	土	定期総会(予定)
21	火		21	金		21	土		21	火		21	木		21	日	
22	水		22	土		22	日		22	水		22	金		22	月	
23	木		23	日	天皇誕生日	23	月		23	木		23	土	五役・総会係	23	火	
24	金		24	月	振替休日	24	火		24	金		24	日		24	水	
25	土		25	火		25	水		25	土		25	月		25	木	
26	日		26	水		26	木		26	日		26	火		26	金	
27	月		27	木		27	金		27	月		27	水		27	土	
28	火		28	金		28	土	役員会⑨新旧五役のみ	28	火		28	木		28	日	
29	水		29	土		29	日		29	水	昭和の日	29	金		29	月	
30	木					30	月		30	木		30	土		30	火	
31	金					31	火					31	日				
【1月11日】 広報誌原稿チェック			【2月9日】 広報誌最終チェック			【3月1日】 広報誌発送作業 【3月28日】 新旧五役顔合せ			【4月11日】 総会準備 1) 全体構成打合せ 2) 案内状確認			【5月10日】 総会案内状発送 1) タイムスケジュール 2) 担当者振り分け 【5月23日】 五役・総会担当のみ打合せ			【6月13日】 総会最終打合せ 【6月20日】 定期総会(予定)		

〈予定〉

- (9) 第9回
ア 日時 2020年3月28日(土) 午前10時30分から
イ 会場 日本体育大学 世田谷キャンパス 2203教室
ウ 議題 新旧五役
- (10) 第10回
ア 日時 2020年4月11日(土) 午前10時30分から
イ 会場 日本体育大学 世田谷キャンパス 2503会議室
ウ 議題 総会について
- (11) 第11回
ア 日時 2020年5月10日(日) 午前10時30分から
イ 会場 日本体育大学 世田谷キャンパス 2503会議室
ウ 議題 「総会案内状」発送作業・総会準備(役割等最終確認)
- (12) 第12回
ア 日時 2020年6月13日(土) 午後10時30分から
イ 会場 日本体育大学 世田谷キャンパス 2503会議室
ウ 議題 総会準備(役割等最終確認)

●昨年度総会の様子



2020年度 東京都保護者会総会・講演会のご案内

下記のとおり「2020年度 東京都保護者会総会」等の開催を予定しています。

本年度も、講演会及び本学の先生方を囲んだ懇親会を総会終了後に企画していますので、ぜひ、ご参加ください。

なお、講演会は、東京都同窓会との共催となりますが、東京都保護者会総会としての催しですので、講演会への参加及び東京都保護者会会員以外（同窓会会員を除く）の方の参加はご遠慮ください。

記

- ① 日時 **2020年6月20日(土) 午後1時から(予定)**
(受付は、午後0時30分からとなります。開会5分前には受付をお済ませください。)
- ② 場所 日本体育大学 東京・世田谷キャンパス (キャンパス内会場未定)
- ③ 総会 2019年度 活動・決算報告
2020年度 活動計画・予算案・役員選出等
- ④ 講演会 講演者未定
- ⑤ 懇親会 【会費】500円 ※当日受付でお支払いください。
【場所】1階 学生食堂 (終了予定時刻：午後5時)

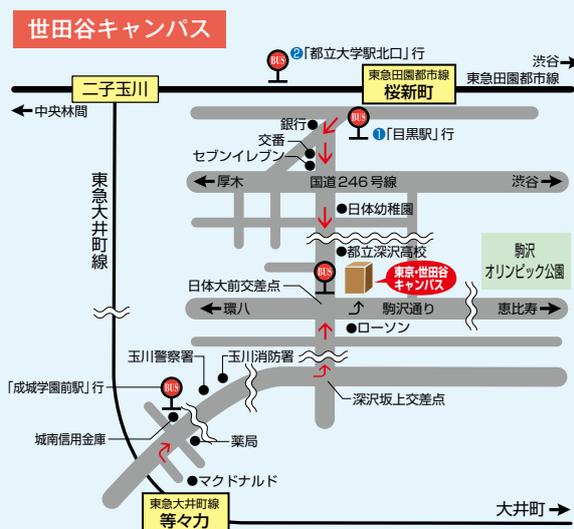
※1 詳細は、2020年5月中旬までに御案内はがきを送付予定です。

※2 【問合せ(メール)】
nssu.apg.tokyo@gmail.com

※3 会議室内はエアコンを使用します。
必要に応じて上着をご用意ください。

※4 駐車場の用意がございません。お車での来場はご遠慮ください。

☆当日は、役員が大学正門付近等で「日本体育大学 東京都保護者会」の“のぼり旗”を持ち、案内しております。遠慮なくお声掛けください。



編集後記

広報担当 松浦 正吾 (3年保護者)

最初に、原稿の作成・写真の撮影等、広報誌作成にご協力いただいたすべての方々にお礼申し上げます。ありがとうございました。

今回の広報誌を担当するにあたり、自分の中でこの機会に日体大のいろんなスポーツ観戦やイベントに積極的に参加してみようと考えていました。

広報誌に全てを載せることはできませんが、日体大の学

生たちの頑張りをいろいろと観る機会を得られ、大変楽しい時間を過ごすことができました。

スポーツに限らず、物事に真剣に取り組んでいる学生たちの姿を見ているだけで感動を貰えました。

今年は東京オリンピック・パラリンピックがありますが、現役の学生のみならず、卒業生を含めた日体ファミリーの活躍を今から楽しみにしています。